

グラントウキョウサウスタワー

建物諸元(2021年12月現在)

所在	東京都千代田区丸の内一丁目9番2号
主用途	オフィス、店舗、駐車場
敷地面積	5,229.54 m ²
延床面積	139,785.73 m ²
階数	地上42階、地下4階、塔屋1階
竣工年月	2007年10月
事業者	東日本旅客鉄道株式会社、日本ビルファンド投資法人、鹿島八重洲開発株式会社、三井住友信託銀行株式会社
設計会社	株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所
施工会社	東京駅八重洲口開発計画南棟新築工事共同企業体
管理会社	株式会社ジェイアール東日本ビルディング
URL	無
テナント数	オフィス18社(特定テナント2社)、店舗5店舗

主な評価項目

I 一般管理事項

- ・CO₂削減推進会議を通じた、事業者・管理者・入居者の協力体制の構築

II 建物、設備性能に関する事項

- ・CO₂濃度による外気量制御の導入
- ・高効率照明器具の導入
- ・高効率熱源機器の導入

III 運用に関する事項

- ・BEMSを活用した、きめ細かなエネルギー分析を実施し、その結果を反映した効率的な設備運用
- ・空調温度制御不感帯の設定

事業所の概要

グラントウキョウサウスタワーは、「光に包まれるクリスタルの塔」をコンセプトに、ガラス建築の透明美と先進オフィスビルとしての機能を調和させています。東京駅からダイレクトにアプローチできる、優れたアクセス環境を備え、働く人々や来訪者の利便性とビジネスの効率性を高めます。

事業所における環境負荷低減の取組

環境や省エネルギーを強く意識した建築計画で、空調効率の向上に寄与するエアフローウィンドウや、外光に応じ自動的に居室内の照度を調整する自動調光システムを採用しております。また、更なる環境負荷低減のため、事業者・運営者・テナント・設備管理会社が一体となり、ハード面での設備投資やソフト面での運用改善を実施しております。

<具体的な取り組み事例>

- ・共用部の照明のLED化
- ・専用部の一部の照明のLED化
- ・空調二次ポンプの適性容量分割
- ・空調二次ポンプの小容量ポンプの導入
- ・熱源用冷却水ポンプインバータ化
- ・レトロ・コミッションングの実施
- ・熱源設備熱交換器断熱工事
- ・空調温度制御不感帯の設定
- ・節電の啓蒙
 - ①空調の停止及び時間短縮
 - ②照明の消灯及び時間短縮
 - ③待機電力の削減
 - ④パソコン電源設定
 - ⑤ブラインドの効率運用
 - ⑥冷凍冷蔵庫及びショーケースの運用
- ・年2回CO₂削減推進会議を実施

事業所外観写真

